

堀内紀長さん、ニューイヤーコンサートを上田で開催

1月21日

上原 昇（2組）

高校同級の堀内晶一君（2組、別所温泉出身）は昔から音楽が好きで、幼少の頃はピアノを習っていたそうだ。

その遺伝子が息子さん（堀内紀長さん：94期）に繋がったようである。

紀長さんと女性共演者による“ニューイヤー ソプラノ&バリトン”デュオコンサートが、1月21日（土）上田文化会館ホールで開催された。

当日の上田は未明に降った雪が積もって、新幹線を降りた駅前是一片の白銀の世界でびっくりする。（写真2）

雪道のなか、会場には堀内君親子の友人知人が大勢集まってくる。高校同期では2組の松本勉君（母校グリーンクラブOB）、丸山幸雄君、日野博明君、上原をはじめ増澤賢一君（9）、塩沢慎一君（6組）の顔もみえる。

紀長さんは洗足学園音大を卒業した後、愛知県立芸大（院）声楽科修了のバリトン声楽家である。ソプラノは竹花摩耶さん（上田市出身で愛知県立芸大の紀長君の後輩）、ピアノ演奏は宮下絵美さん。

このコンサートは一般社団法人上田法人会主催の社会貢献事業である。

第1部はオペラのワンシーン（「フィガロの結婚」「魔笛」「カルメン」など）から5曲を、第2部では日本の歌曲、懐かしい日本唱歌など（「小さな空」「案山子」「貝殻のうた」、「ふるさと」など）を次々とソロで、そして息の合ったデュエットで披露、観客を堪能させてくれた。

最後はアンコールに答えて名曲「川の流れるように」を歌い上げてくれた。

紀長さんは名古屋に在住して活動中で、4月2日には上田のサントミュージゼでの演奏会にも出演の予定とのこと。

我々も子供世代の同窓生を応援していきたいものである。

（1月22日記）

【写真1：演奏ステージで、左から宮下さん、堀内紀長さん、竹花さん】



【写真2：上田駅前の雪景色】

